

全道単位会会長会議

とき 平成30年4月29日(祝)
ところ 北海道母子福祉センター

平成30年度活動目標 理事・評議員各部より

全道単位会会長会議

定刻の10時30分に開会し、45単位会91名の出席報告があり、畑和子理事長は挨拶の中で、前日の理事・評議員・地区連会長会議において、平成29年度報告事項並びに平成30年度事業計画・予算案が承認された旨の説明をされ、清掃事業受託50年、道立病院院内保育受託40年を迎え、関係者の尽力に対する感謝に言葉がありました。
ご来賓の北海道保健福祉部子ども未来推進局子育て支援課森本秀樹課長からは、母子家庭等就業・自立支援事業、ひとり親家庭職業



畑和子理事長のあいさつ

30年度活動目標

理事 高橋ノリ子

四月に清掃事業が50年、院内保育所が40年を迎えてささやかなお祝いを催しました。こんなに長く事業を続けてきたという事は、それぞれの立場で携わってきた方々の、地道な努力が認められた事の証明だろうと思えました。

道母連は奨学金、ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業、自立支援センター事業、母子福祉センターの食堂、宿泊、貸室、空港ボレン、頒布事業、清掃事業、道立病院の院内保育所等々沢山の事業を女性だけで運営しています。それぞれの部所で担当の方がどうしたらよりよい経営が出来るか、お客さんに喜んでもらえるか本当に創意工夫をして仕事に励んでいます。室蘭の自立支援センターも新しい体制で動き始めています。多分、平成は今期で終りになると思います。新しい年号になる年に、余り重い荷物を残さないように私達理事もお互い情報交換をしながら、良い道筋ができるように物事を進めたいと思います。

各部の部長より

事業部 甲谷由美子

- ・ひとり親家庭の就労対策と清掃事業の拡大及び子育て支援
- ・母子福祉センター活用の周知と運営管理
- ・新千歳空港カフェテラスぼれん売上向上の一層の努力
- ・頒布事業の各社商品の周知と販売促進

研修部 半田るり子

会員減少に対し、単位会活動や地域の役割を再度見直し、来年度は少しでも、この組織に魅力を感じる母子家庭が入会することを目標にしたいと思います。

広報部 安達 史子

改革に必要なことは、現状を把握し原因を分析することです。その上で、中長期的な計画を立て優先順位を決め、いち早くスタートすることです。結果に繋がらない時も、「この方法は最良ではない。」と知り、次の案を考えることが出来ず。未来に向けて知恵を結集し成果につなげましょう。